

JAIA F★★★★

# スピンドル鋌用接着剤 MS-50

国土交通省公共建築工事標準仕様書  
機械設備工事編に準じています

保温・防音・断熱工用スピンドル鋌、FPファスナーを施工するのに適した変成シリコーン樹脂系接着剤です。空気中の湿気（水分）で反応・硬化する1液接着剤です。初期接着力及び施工性に優れています。



変成シリコーン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ・指定可燃物可燃性固体類

容量	包装形態	梱包単位
250g	ラミネートチューブ	10本入り箱

## 用 途

適用箇所	屋内の壁面及び天井面（折版屋根は除く）
適用下地	コンクリート、モルタル、金属、 けい酸カルシウム板、フレキシブル板
適用仕上げ材	スピンドル鋌、FPファスナー、 ヘルパーロック、ブロングアンカー等

## 性 質

外 観	灰白色 マスチック状		
主 成 分	変成シリコーン樹脂系		
	5℃	23℃	35℃
張 付 け 可 能 時 間	5分以内	1分以内	1分以内
硬 化 時 間（金属下地を除く）	8時間	2時間	1時間

## 標準使用量

0.7g	スピンドル鋌1本（釘長75mm以下）
1g	スピンドル鋌1本（釘長100mm以上） FPファスナー1本 ブロングアンカー1本 ヘルパーロック1個

## 使用方法

### 【接着面の確認】

接着面のゴミ・水分・油分・錆などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

チェック： 塗装面、ガラス面には使用しないで下さい。

### 【接着剤の塗布】

1. キャップを取り外し、内部の保護皮膜を破ります。
  2. 仕上材または下地材の接着面に接着剤を塗布します。
- チェック： 接着剤の塗布量が多すぎると、硬化時間が遅くなったり、垂れてくる可能性があります。

### 【張り付け】

接着剤塗布後、張り付け可能時間以内にスピンドル鋌又はFPファスナーを押し付ける様に張り付けます。

### 【養生】

張り付け後、接着剤が完全に硬化するまで外力が加わらないように養生します。

## 施工上の注意事項

- 金属同士の接着においては接着剤の硬化が遅くなる可能性があります。
- ポリエチレン、ポリプロピレンには接着しません。
- 接着用途以外に絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。氷点下、又は高温下で保管した場合、接着剤の品質低下及び容器が変形する可能性があります。
- 取り扱い場所及び作業場所は換気を行って下さい。又、施工後も接着剤が硬化するまで通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行って下さい。
- 可燃性のある成分を含んでいます。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。

## 取り扱い上の注意事項

MS-50を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。直射日光のあたる場所や高温多湿になるような場所に置かれますと、接着剤が容器内部で硬化したりガス膨れが生じる可能性があります。
- 使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 食品用器具、容器等には使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート（SDS）またはカタログをご参照下さい。

## ■警告及び注意



可燃性あり 有害性あり 皮膚刺激性あり 火気厳禁 吸入注意 接触注意

## ❗ MS-50 使用上の注意事項

### MS-50による接着施工

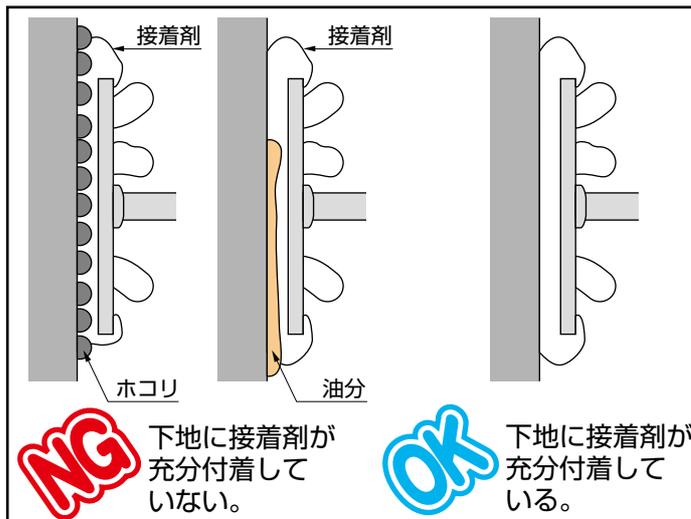
## こんな時は十分な接着力が確保できません。

### 原因1 下地のホコリ・油分・結露状況

下地のホコリや油分、結露、含水率が高い状態などは接着剤の付着を妨げ、有効接着面積を確保できなくなり、十分な接着力が発揮できません。

#### 対応 清掃

施工前に下地表面の状況を確認し、ホコリ・油分など接着不良の原因となる物を取り除いて下さい。

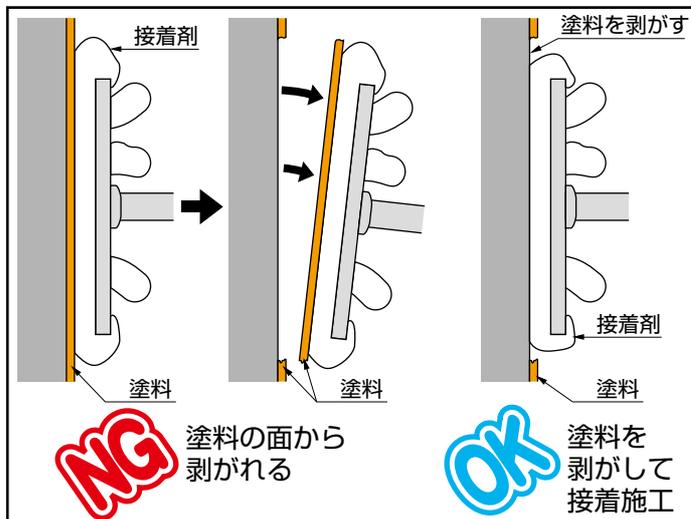


### 原因2 下地が塗装されている

下地となる鉄板や鉄骨に塗装が施されている場合は、接着剤強度が下地への塗料の密着性に依存されるため、データ通りの接着力を得ることができません。

#### 対応 塗装を除去するか確認施工を行う

塗装を除去した後、現れた下地に接着施工を行います。やむを得ない場合は、試験施工を実施するか、担当の営業にご相談下さい。



●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。  
●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸営業所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター TEL: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010